

【畠地帯総合整備事業 本郷高野地区】

畠地の基盤整備を契機とした効率的な営農と農地集積（茨城県神栖市）

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備により、区画拡大、道路・排水施設が整備されたことで、効率的な営農が可能
- 農地集積が進んだことで、遊休農地が解消され、高収益作物を中心に行き付け面積が拡大

基盤

基盤整備により効率的な営農が可能

【整備後】

区画整理や農道、排水施設の整備により、**効率的な営農が可能**となった。



整備したほ場で若松・千両の作付けが拡大



(千両)



(若松)

【整備前】

不整形なほ場、狭小な道路、未整備の排水路により、多くのほ場が遊休農地と化しており、営農に多大なる支障をきたしていた。



不整形で狭小、遊休農地化した農地

基盤整備

(R3年～R8年)

【取組地域の概要】

- 位置 茨城県 神栖市

本郷高野地区



- 地区面積 52.4ha

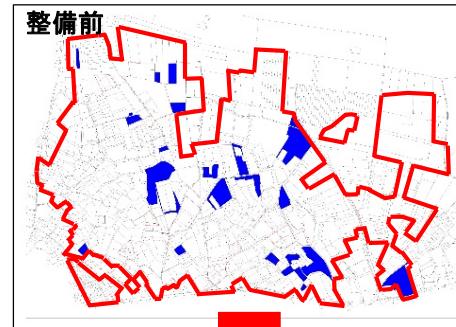
- 主要作物 千両、若松、ピーマン

- 主な支援施策
 - ・県営畠地帯総合整備事業(H21～)
 - ・国営鹿島南部農業水利事業(S42～H3)
 - ・県営ふるさと農道整備事業(R3～)

地域の取組

農地の集積・集約化と担い手の経営規模拡大

- 基盤整備を契機に、若松・千両を生産する農業生産法人をはじめとした担い手へ**農地を集積・集約化**



R6時点

農地集積面積(率)

【整備前】
5.5ha(7.1%)

【計画】
33.5ha(66.7%)

【R6時点】
15.2ha(30.3%)

うち法人参入: 3.9ha
若松: 2.5ha
千両: 1.4ha

整備済面積に対する農地集積率

➡ 80.4%

個人	法人	R5まで整備済

高収益作物への転換

- 未整備で遊休農地が多い地域であるが、現況で作付されている若松や千両、ピーマン等の高収益作物の作付面積が増加

作付計画

作物	現況	計画
若松	5.2	11.8
千両	0.6	19.8
ピーマン	2.4	6.2
甘藷	—	6.0
キャベツ	0.4	5.6
ネギ	0.3	3.9
水稻	2.2	—

所得の推移(計画)



【出典:事業計画書より】